

2023年度 会長インタビューでお伺いしたご意見の要点（4）

インタビュー対象者	企業経営において大事にすべきこと
株式会社大林組代表取締役社長 蓮輪 賢治 様	<ul style="list-style-type: none"> ・ステークホルダーとの協調を考えた「バランスカ」による成長 ・コミュニケーションが大切 ・平常に過ごし、事業経営に ・ビッグプロジェクトが人を育てる（自社経営） ・社会インフラの充実・保全 ・地球環境の変化に伴う国民生活の安心・安全の担保。日本全体と個人のBCPに貢献する
元・株式会社NTTドコモ 代表取締役社長 大阪大学工業会副会長 山田 隆持 様	<ul style="list-style-type: none"> ・「常識が一番」と「お客さまが大事」の二つと、現場とのコミュニケーション ・トータルパワーの発揮のため、指揮命令系統の確立と情報の共有化 ・リーダーは一度は必ず現場を見ること、そして現場のことは現場に任せること
株式会社ダイヘン 代表取締役社長 養毛 正一郎 様	<ul style="list-style-type: none"> ・技術開発力が命：独自性と貪欲さを重視 ・事業展開に重点をしばり、開発費を確保して、社会に貢献できる技術開発へ ・開発を担う若手の活性化へ：誠実さと実直さを。次世代の開発課題と若い力への期待。（自社経営） ・「マテリアル・プロセッシング」の技術分野で、新しいものづくりを事業展開。
三洋化成工業株式会社 取締役会長 安藤 孝夫 様	<ul style="list-style-type: none"> ・開発商品の根本は「見極め」と「継続」 ・経営の基本は過去の直しと慣例主義からの脱却：ポイントはトップの意志 ・持続可能性のために必要なのはレジリエント（自社経営） ・規模でなくて、何をどのようにやるかが課題 まずやってみましょう ・「企業を通じてよりよい社会を建設しよう」 ・市場規模よりは社会課題の解決を
シスメックス株式会社 代表取締役社長 浅野 薫 様	<p>（自社経営）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「協調性」がシスメックスの強み ・手術支援ロボットの開発への強い意欲と開発を高めた創る人と使う人のコミュニケーション ・データベースを活用した新しい医療分野のビジネスの構築
元・南海電気鉄道株式会社 取締役社長 亘 信二 様	<p>（自社経営）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸送人数をいかに増やすかということがポイント ・広く他社との連携 ・全体的なバランスを考えた人員配置 ・電気部というコスト部門からコスト削減への自動化の活用と他社連携の動き
丸一鋼管株式会社 代表取締役社長兼COO 吉村 貴典 様	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsやESGを常に意識し、利益を出してSDGsやESGを推進していくことが経営者としても大切な視点 ・「選択と集中」のバランスが基本（自社経営） ・お客さんの顔を意識することが重要。設備導入するにしても、使う人のことを考えて ・設計の基本は「なぜ」にかえること ・リーディングカンパニーの意義：小規模工場を活用した需要地生産システム
岩谷産業株式会社 代表取締役社長 間島 寛 様	<p>（自社経営）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境を考えて80年：炭素の少ない燃料の「プロパン」から「水素」へ ・「水素こそが究極のエネルギー」 ・世の中に必要な人間となれ：必要とされるものこそ栄える ・水素ビジネスの今後の展開。水素用途の拡大・世界中の自国のエネルギーの活かし方に貢献する水素
日本認証株式会社 代表取締役会長 IDEC株式会社技術経営担当 上席執行役員 大阪大学工業会理事 藤田 俊弘 様	<p>二つの方向：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際標準化など規格創成への取組み ・企業のあり方としての「ウェルビーイング」の実践 ・「ルールをつかう」だけでなく「ルールをつくる」活動を ・「安全・健康・ウェルビーイング」を軸に ・人と機械と環境が情報で繋がることで実現する「協調安全」 ・リスクを取ることで安全が生まれる（自社経営） ・ファイナブル技術の国際標準化の実現と更なる展開へ

<p>元・アサヒグループホールディングス 株式会社 代表取締役副社長 川面 克行 様</p>	<ul style="list-style-type: none"> すべてのステークホルダーとの共創 すべてのお客さまに、最高の明日を。お客様相手での失敗は許されない ものづくりの繊細さを考える 「チャンスは貯金ができない」、思い切った決断へ 利益を出し続ける強い信念を持つことが根本
<p>花王株式会社 取締役会長 澤田 道隆 様</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「未来への5つの約束」 基本的には全てのステークホルダーに向けての約束 経営は：本質を見極め本質に帰る 本質の意識を持ち続けてコミュニケーションを図ること。自らが経営ビジョンを持ち、その丁寧な説明 人材養成の本質：育つ環境を整えること（リーダーの役割） 企業経営者は、価値あるコミュニケーションをとり、胸に突き刺さる一言を（自社経営） 花王はESG経営に軸足を移すことを宣言。
<p>株式会社大同工業代表取締役社長 大阪大学工業会理事 大桐 伸介 様</p>	<ul style="list-style-type: none"> お客様第一主義で敏速に行動 会社の繁栄は「信頼と和」である。 品質は会社の命 ものづくりの基本は現場現物主義 SDGsへの取組と社内の理解増進（自社経営） <p>海外展開をめざす：課外展開の難しさと自社のスペックが活きる方策を</p>
<p>株式会社エンパイオ・ ホールディングス 取締役会長 西村 実 様</p>	<ul style="list-style-type: none"> 先を見た独自技術が勝ち抜くための条件 ベンチャーが成功するために：他と違う技術を持つことと先行経験を最大限に活かす 企業経営で大切なこと：よき仲間のチームワーク 人材の適材適所に配置したチームを大切に、チームワークを大事に
<p>元・東京エレクトロン株式会社 代表取締役会長 東京エレクトロンデバイス株式会社取締役 株式会社レゾナック・ホールディングス 取締役 常石 哲男 様</p>	<ul style="list-style-type: none"> 創業者の目利き 「良き企業文化」：企業文化の成長は土壌が大事 研究開発力が命 いい企業文化が良いものを造り出す 社員を大切に「企業風土」が気概のある人材を育てる 企業の成長は利益から：利益を上げるための競争と共創が求められる フェアな評価が不可欠 リーダーの役割：やる気を生む環境を作り、部門の総力の最大化を
<p>サラヤ株式会社 代表取締役社長 更家 悠介 様</p>	<ul style="list-style-type: none"> イノベーションが企業経営の最重要課題：自主独立的に活動する人材が活躍 イノベーションを支える人材の養成と人材評価が大切 お客様をしっかりと見ながら、社員が楽しく、互いに気を遣い、愛嬌と愛情をもって 組織力が企業経営を支える（自社経営） 地球市民宣言：ビジネスのあり方にも地球市民感覚を 未来社会のために何をすべきか：健康寿命の向上へ
<p>サンワ・リノテック株式会社 取締役会長 佐川 博敏 様</p>	<p>（自社経営）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「おもしろおかしく、人に笑顔を、そして、好奇心をもって、ワクワク働くこと」 「確固とした信念を持ち、自分に関わるすべての人から感謝され、共に感動しチャレンジする志を持ち、サンワリノテックを成長させていく」 「生涯の使命は、確固とした信念を持ち、いつも前向きに行動。毎日自分自身の心をときめかすことを継続すること」 歴史的構造物を後世に、文化財の保存をライフワークに
<p>株式会社 ユーデーコンサルタンツ 代表取締役会長 西田 修 様</p>	<ul style="list-style-type: none"> 再開発：「モータリゼーション」と「少子高齢化」が要因 都市開発をコーディネートする人材：「人の話を聞く力」が重要 生成AIは、基本設計においては、我々の作業の効率化は図られるが侵略されることはない VE (Value Engineering)
<p>元・株式会社SUBARU 取締役専務執行役員 三井化学株式会社 社外取締役 馬淵 晃 様</p>	<ul style="list-style-type: none"> 職場の変化でも前任を引きずらず、新しい場所でゼロスタート ありたい姿を描き実行すること 技術第一とってきた企業の経営の基本は、SUBARUブランドを確立し、それに沿った車を造ることと、収益力のある商品を世に出すこと 経営に不可欠なのはガバナンス力：末端の言うことを拾い上げて「よい会社」に 「よい会社」とは：社会の評価を得て、働きがいのある環境のもと収益があげ続けられる会社